



所在地：千葉市美浜区打瀬1丁目

施主：千葉市

設計：(株)シーラカンス

施工：銭高・松栄共同企業体

景観に配慮した一般建築物

## 千葉市立 打瀬小学校



幕張新都心住宅地区に昨年開校した打瀬小学校は、都市街路型オープンスクールとして新しい教育環境の在り方に一石を投じた極めて魅力的な学校である。

街区形成に沿って開かれた小学校をコンセプトに、フェンスも校門もない開放的な空間構成で、市民も自由に通り抜けが可能なパスが設けられ、ピロティ越しに生徒の生活の様子が見え隠れる。街と内部空間との連続で生じる流動性を街に染み出すことによって、都市の風景をつくりだそうという狙いである。

外観や屋根の表情も変化に富んだリズムミカルなデザインで、心地よい優しさが伝わってきて共感を覚える。

全体計画は学年のまとまりを考慮して低、中、高学年の各ゾーンに分け、更に管理、特別教室、屋内運動場棟と6つのゾーニングで構成されている。各教室棟はワークスペースが十分確保されて多様な学習活動が可能となり、低学年棟はアルコブや中庭を取り込んだ快適な生活空間として、まさに「学校は住居である」という理念が貫かれた教育環境である。

各棟を繋ぐ移動経路や中庭はそれぞれ変化に富んだ創造的な空間構成で、子供達が自発的に空間体験し、好奇心を喚起するに十分な楽しさが演出されている。



コンクリート打放しを基調とした緊張感溢れるデザインの中に、ほっとするような温もりのある色調や木の質感を大切に馴染みやすい建築空間がある。

子供達や先生方がみんな嬉々として生活を楽しんでいる姿に接し、社会が変わり、テクノロジーが進化し、文化が多様化する中で、教育環境も大きく姿を変え始めたことを実感させられた。

新しい時代を先取りした設計者の軸足の定まった視点と勇気ある提案に心から敬意とエールを捧げたい。

(明智克夫 委員)